

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	安心な住環境の保全		
取り組み事項	住環境の整備に努める		
主管部局	建設農林部 都市整備課	関連部局	

めざす暮らしの姿

安心な住環境の保全

基本方針

地震などの自然災害から住宅を守るための予防対策を推進し、安心な住環境の保全に取り組みます。

施策の方針

土砂災害などの防止及び被害軽減のための対策を県と連携して推進します。
また、一般住宅の地震に対する耐震化の促進について周知するとともに、支援を行います。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.44	0.38	0.4	0.82	0.82	0.82
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	2,986,084	2,906,952	2,595,163	5,743,181	5,921,537	5,921,537
事業費計	0	1,400,000	1,200,000	1,935,500	11,107,000	5,780,000
フルコスト	2,986,084	4,306,952	3,795,163	7,678,681	17,028,537	11,701,537

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度	
特定財源	国庫支出金	0	500,000	500,000	783,000	5,118,000	2,455,500
	県支出金	0	100,000	0	241,000	2,085,000	754,750
	市債						0
	その他				63,000	63,000	63,000
一般財源1	2,986,084	3,706,952	3,295,163	6,591,681	9,762,537	8,428,287	
一般財源2	0	800,000	700,000	848,500	3,841,000	2,506,750	

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【質】簡易耐震診断実施件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	20	20	20	20	20	20
単年度実績値	13	16	14	17		
単年度達成率	65%	80%	70%	85%	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【質】簡易耐震診断実施件数
前年度との比較	↑：向上
所見	住宅の簡易耐震診断を希望する所有者に対して、耐震診断技術者を派遣し、適正・円滑に耐震診断を実施した。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050102010002	事務事業名	住宅耐震化促進事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	快適に暮らせるまちづくり
基本施策	安心な住環境の保全	取り組み事項	住環境の整備に努める
部名	建設農林部	課名	都市整備課
事業の開始	平成27年度	終了年度	なし
実施の概要	昭和56年5月以前に建築された住宅を対象に耐震診断技術者を派遣し、耐震診断を実施する。 また、耐震診断を実施し危険と判定された住宅所有者が耐震改修工事等を実施する際に、費用の一部を助成することで耐震化の促進を図る。		
対象	昭和56年5月以前に建築された住宅の所有者		
目的	地震に対する安全性の向上を図り、安心な住環境を確保する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	地域防災計画		
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市簡易耐震診断推進事業実施要綱、相生市住宅耐震化補助事業補助金交付要綱		

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.22	0.32	0.33	0.75	0.75	0.75
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,493,042	2,447,960	2,141,010	5,252,910	5,416,040	5,416,040
事業費計	0	1,400,000	1,200,000	1,935,500	5,030,000	5,030,000
フルコスト	1,493,042	3,847,960	3,341,010	7,188,410	10,446,040	10,446,040

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	500,000	500,000	783,000	2,283,000	2,283,000
県支出金	0	100,000	0	241,000	466,000	466,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	63,000	63,000	63,000
フルコストー特定財源	1,493,042	3,247,960	2,841,010	6,101,410	7,634,040	7,634,040
事業費計ー特定財源	0	800,000	700,000	848,500	2,218,000	2,218,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】簡易耐震診断実施件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	20	20	20	20	20	20
単年度実績値	13	16	14	17		
前年比	-	123.07%	87.5%	121.42%	-	-
単年度達成率	65%	80%	70%	85%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	診断1件辺りのフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	74,652.1	192,398	167,050.5	359,420.5	522,302	522,302
単年度実績値	114,849.3846	240,497.5	238,643.5714	422,847.6471		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	住宅の耐震化を促進することにより、地震に対する市民の安全性を確保することは妥当である。また、耐震化工事は高額であるため、市民の負担を軽減し工事实施の機運を醸成するために市が助成することは妥当である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	耐震診断を行い、地震に対する住宅の安全性を認識することは有効である。また、耐震改修工事の実施により安全性が確保できている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	兵庫県の定める耐震診断技術者を派遣するなど、県や民間事業者と連携した事業実施できている。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	広報紙やホームページによる普及啓発以外に、くらしの生活展において個別相談会を実施するなど、耐震工事の必要性や補助制度の周知に努めている。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	広報紙及びホームページにおいて情報提供を行っているほか、耐震診断結果報告書を送付する際に、補助制度の案内チラシを同封している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	広報紙やホームページによる普及啓発以外に、相談会の開催によりさらなる啓発に努めた。耐震診断実施者へのフォローアップなどにより、市民の住宅への地震に対する安全性確保への認識を促す。また、助成内容も適宜見直しを図り、市民にとって利用しやすい制度とすることで耐震化の促進を図る。
休止・廃止となったときの影響	休止・廃止とした場合、耐震化工事費の自己負担が増加し、耐震化の実施を躊躇することが危惧される。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き事業の周知を行いながら、市民の安全性を確保するため継続して実施する。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050102010003	事務事業名	住宅・建築物土砂災害対策支援事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	快適に暮らせるまちづくり
基本施策	安心な住環境の保全	取り組み事項	住環境の整備に努める
部名	建設農林部	課名	都市整備課
事業の開始	令和3年度	終了年度	なし
実施の概要	土砂災害特別警戒区域に存する住宅及び建築物で既存不適格であるものに対し、防護壁等の整備費用に対して助成を行い、災害の危険性から市民の安全を確保する。		
対象	土砂災害特別警戒区域に存する住宅及び建築物の所有者		
目的	土砂災害等に対する安全性の向上を図り、安心な住環境を確保する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	地域防災計画		
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市住宅・建築物災害対策支援事業補助金交付要綱		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.22	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,493,042	458,992	454,153	490,271	505,497	505,497
事業費計	0	0	0	0	6,077,000	750,000
フルコスト	1,493,042	458,992	454,153	490,271	6,582,497	1,255,497

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	2,835,000	172,500
県支出金	0	0	0	0	1,619,000	288,750
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	1,493,042	458,992	454,153	490,271	2,128,497	794,247
事業費計ー特定財源	0	0	0	0	1,623,000	288,750

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】住宅・建築物災害対策支援補助金交付件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2	2	2	2	2	2
単年度実績値	0	0	0	0		
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	補助金交付1件辺りのフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	746,521	229,496	227,076.5	245,135.5	3,291,248.5	627,748.5
単年度実績値						

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	土砂災害の危険性のある住宅に対して対策改修費用の助成を行うことは、所有者の安全性と財産の保護を図る観点から妥当である。	なし
有効性	B:比較的有効である	対象となる住宅・建築物に防護壁等の整備を行うことで土砂災害からの安全性を向上することができる。ただし、制度創設から利用実績がないため、対象となる住宅所有者に対する制度周知を図る必要がある。	あり
効率性	B:比較的効率的である	災害からの危険性を回避するためにも、対策工事の実施を推進するうえでは補助の対象範囲、助成率は妥当である。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	制度創設から利用実績がないため、対象住宅所有者に対しての制度の周知を図り、土砂災害対策を推進する必要がある。	あり
透明性	C:透明性が低い	ホームページ等で情報提供を行っているが、制度の推進を図るには、対象住宅所有者に対するダイレクトな周知が必要である。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	対象となる住宅・建築物を所有する住民への制度周知の方法を検討し、事業を推進していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	休止・廃止とした場合、土砂災害による危険性の高い住宅等所有者の安全性を確保するための支援手段がなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	事業の周知方法を検討した上で、市民の安全性を確保するため継続して実施する。

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	安心な住環境の保全		
取り組み事項	公園、緑地の保全を図る		
主管部局	建設農林部 都市整備課	関連部局	

めざす暮らしの姿

安全安心な住環境の保全

基本方針

公園及び緑地については、快適な利用空間を確保し、景観の質的向上に努める。

施策の方針

市民の憩いの場及び交流の場であり、災害時に避難場所になる公園及び緑地については、快適な利用空間の確保等に努める。また、公園管理については、定期的な点検パトロールにより適正な維持管理を行う。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.36	0.35	0.5	0.5	0.5	0.0
会計年度任用職員数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.0
人件費計	2,485,406	2,721,396	3,288,899	3,559,240	3,675,178	0
事業費計	56,373,852	77,667,186	63,275,145	63,032,232	83,486,000	0
フルコスト	58,859,258	80,388,582	66,564,044	66,591,472	87,161,178	0

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	6,337,000	17,500,000	17,500,000	17,500,000	17,500,000	0
県支出金	2,350,000	2,350,000	2,350,000	2,350,000	2,350,000	0
市債		15,700,000	15,700,000	15,700,000	15,700,000	0
その他	3,401,775	3,801,000	3,601,000	3,601,000	3,601,000	0
一般財源1	46,770,483	41,037,582	27,413,044	27,440,472	48,010,178	0
一般財源2	44,285,077	38,316,186	24,124,145	23,881,232	44,335,000	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】公園の整備面積					
単位	ha					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	30.56	30.56	30.56	30.56	30.56	
単年度実績値	30.56	30.56	30.56	30.56		
単年度達成率	100%	100%	100%	100%	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】公園の整備面積
前年度との比較	→:維持
所見	公園の整備面積は維持できている。

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	安心な住環境の保全		
取り組み事項	公営住宅などの適切な管理に努める		
主管部局	建設農林部 都市整備課	関連部局	

めざす暮らしの姿

安全な住環境の保全

基本方針

住宅需要を考慮した公営住宅・市営住宅のあり方を検討します。

施策の方針

住宅セーフティネットとなる公営住宅について、今後の住宅需要を考慮しつつ、公営住宅・市営住宅のあり方について検討し、修繕及び更新を計画的に行います。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	3.38	3.68	4.08	3.77	3.77	0.0
会計年度任用職員数	1.17	0.73	0.77	0.77	0.77	0.0
人件費計	24,586,171	29,220,758	27,624,247	27,875,328	28,879,758	0
事業費計	26,685,463	33,241,485	12,437,141	14,498,134	16,347,000	0
フルコスト	51,271,634	62,462,243	40,061,388	42,373,462	45,226,758	0

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0				0
県支出金						0
市債						0
その他	34,902,073	30,759,000	13,852,000	15,160,000	16,167,000	0
一般財源1	16,369,561	31,703,243	26,209,388	27,213,462	29,059,758	0
一般財源2	-8,216,610	2,482,485	-1,414,859	-661,866	180,000	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【質】市営住宅入居率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	減少					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	65	60	60	60	60	60
単年度実績値	65	60	57	48		
単年度達成率	100%	100%	95%	80.5%		

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【質】市営住宅入居率
前年度との比較	
所見	老朽化が著しく、新規募集を停止している。

